



なつのかも



本校ホームページ
携帯・スマホ用サイト
でもご覧ください。

第153号 (R4. 6. 1)

練馬区立光が丘夏の雲小学校

自分を大切に 他の人も大切に

校長 宮林 伸之

待ちに待った運動会がいよいよ今週末に実施されます。

運動会と聞くと大人も子供もワクワクします。学校においても一大イベントの一つです。

毎日、私は、運動会の大成功と子供たち教職員の無事故・成長を祈る日々です。

さて、学校経営計画に「日常の教育活動で大切すること」として以下のように記載しています。

日常の学習場面、委員会・係・当番活動、行事への取組に際し、

- 目標をもたせ目標達成に向けて努力させる。
- 最善を尽くそうという姿勢を常にもたせ、主体的に取り組ませる。
- 主体的に事象に関わらせ、やり遂げる経験を積ませることを大切にする。

マネジメントの視点を導入し、児童が主体的に課題に取り組み、解決までの計画を立て、時に仲間と力を合わせてやり遂げる達成感・成就感を味わわせることを大切にしていこう。

子供たちは、スローガン「太陽の赤組 光輝け白組 炎を消すな 夏雲運動会」のもと、汗を額に浮かべながら精一杯、運動会の練習や準備に励んでいます。子供たち一人一人は、「〇〇ができるようになる」「みんなとやり切って思い出をつくりたい」など目標を立てています。そして教職員は、競技や演技の練習に対して、子供たちが主体的に取り組めるように様々なことを考えて一時間の学習計画を立ててのぞみます。その中で、子供たちは、できた喜びや表現する喜び、協力し合うことの素晴らしさ、自分に挑戦することの大切さなどを学びます。新型コロナウイルス感染症対策のため制限のある運動会の開催になりますが、運動会当日は、その成果を精一杯に発揮することと思います。子供たちの活動に声援や応援をよろしくお願いいたします。

話は変わりますが、「ちむぐりさ」という言葉をご存じでしょうか。

沖縄の島言葉で「他人の苦しみや哀しみに触れたときに、自分も同じようにその苦しみなどを感じる」という意味です。この言葉は、孤立している人、苦しんでいる人の気持ちに共感して寄り添う存在の心を表しています。とても素敵な言葉です。

先日、朝校門で子供たちを出迎えていた時のことです。一人の児童が校門の前で立っていました。送ってくださった保護者の方と別れて哀しい思いをしていたのです。すると、同じクラスの子供が通りかかり「どうしたの？ 哀しいの。」と心配そうな顔で尋ねました。そして、しばらくの間その場で手を握りたたずんでいました。その後、同じクラスの子が「大丈夫だよ。」と言って校門をくぐりました。とても心が温かくなりました。

相手を思う気持ちが伝わったとき、人は一歩踏み切る勇気が湧いてきます。

人の心を癒す尊い贈り物は、「温かな思いやりの心と真心のこもった言葉」だと実感しました。

「自分を大切にする 他の人も大切にする」

この言葉は、初めて夏雲小の子供たちと出会ったときに伝えたことです。

私も、縁した子供たち、教職員、保護者の皆様、そして地域の皆様に常に大切にしていきたいと感じています。